

水稻品種「あきたこまち」の 乾田直播栽培への適応性

福島県農業試験場 相馬支場

平成12～14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－水稻直播・品種

分類コード 01－01－75010000

2 担当者

木田義信・島宗知行

3 要旨

平成12年に奨励品種となった「あきたこまち」の乾田直播栽培への適応性を、「ひとめぼれ」と比較して検討した。

- (1) 「あきたこまち」と「ひとめぼれ」の葉身傾斜角度、葉身重はほぼ同じで、受光体勢に差は見られなかった。
- (2) 「あきたこまち」の播種から出芽揃期までの日数は、「ひとめぼれ」より4日程度短く、また、早播(4月10日播)しても苗立ち数が確保し易かった。
- (3) 「あきたこまち」の出穂期は「ひとめぼれ」より一週間程度早く、平成14年のように8月3半旬から低温に経過した年でも、8月20日までに収穫期となった。
- (4) 「あきたこまち」の成熟期は「ひとめぼれ」より12日程度早く、9月中～下旬が低温に経過した平成13年、平成14年でも9月末には成熟期に達した。
- (5) 「あきたこまち」は「ひとめぼれ」よりm²収量は少ないものの、収穫期が早く登熟温度が確保できるため、登熟歩合が高まり、収量は「ひとめぼれ」並で、検査等級は高かった。

以上のことから、「あきたこまち」は「ひとめぼれ」より乾田直播栽培に適した品種であると考えられた。

4 その他の資料等

なし